

Logical Domains (LDoms) MIB

1.0.1 リリースノート

制御ドメイン向け

Sun Microsystems, Inc.
www.sun.com

Part No. 820-3462-10
2007 年 11 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付随する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている **Berkeley BSD** システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, Java, docs.sun.com は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Adobe PostScript のロゴは、Adobe Systems, Incorporated の商標です。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

このマニュアルに記載されている製品および情報は、米国の輸出規制法に従うものであり、その他の国の輸出または輸入に関する法律が適用される場合もあります。核、ミサイル、化学兵器、または核の海上での最終使用あるいは最終使用者は、直接的または間接的にかかわらず厳重に禁止されています。米国の通商禁止対象国、または拒否された人物および特別認定国リストにかぎらず、米国の輸出禁止リストに指定されている実体への輸出または再輸出は、厳重に禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Logical Domains (LDoms) MIB 1.0.1 Release Notes

Part No: 820-2320-10

Revision A



Please
Recycle



Adobe PostScript

目次

Logical Domains (LDoms) MIB 1.0.1 リリースノート 1

LDoms MIB 1.0.1 ソフトウェアに影響するバグ 1

`ldomIOBusTable` `alias` プロパティに CLI 出力との一貫性が必要 (バグ ID 6574777) 1

I/O バスの `alias` プロパティが XML の `ldm list-bindings` 出力に表示されない (バグ ID 6582402) 2

Version 2 (`-v2c`) または Version 3 (`-v3`) オプションを指定した `snmptable` コマンドが機能しない (バグ ID 6521530) 2

Logical Domains (LDoms) MIB 1.0.1 リリースノート

このリリースノートには、今回のリリースの Logical Domains (LDoms) Management Information Base (MIB) 1.0.1 ソフトウェアに関する次の情報が記載されています。

- [1 ページの「LDoms MIB 1.0.1 ソフトウェアに影響するバグ」](#)
-

LDoms MIB 1.0.1 ソフトウェアに影響するバグ

この節では、今回のバージョンのソフトウェアを使用した場合に発生する可能性のあるバグの概要を示します。バグの説明は、バグ ID の番号順に記載されています。回復手順および回避方法がある場合には、それらも示します。

`ldomIOBusTable alias` プロパティに CLI 出力との一貫性が必要 (バグ ID 6574777)

LDoms MIB 1.0.1 ソフトウェアの `ldomIOBusTable alias` プロパティは、Logical Domains Manager CLI と同じ値をサポートする必要があります。詳細は、[2 ページの「I/O バスの `alias` プロパティが XML の `ldm list-bindings` 出力に表示されない \(バグ ID 6582402\)」](#)を参照してください。

回避方法: ありません。

I/O バスの alias プロパティが XML の `ldm list-bindings` 出力に表示されない (バグ ID 6582402)

現在、`ldm list-bindings` コマンドの XML 出力には、I/O バスの alias プロパティが表示されません。ただし、`ldm list-bindings` コマンドの CLI 出力には、このデータが表示されます。

回避方法: ありません。

Version 2 (`-v2c`) または Version 3 (`-v3`) オプションを指定した `snmptable` コマンドが機能しない (バグ ID 6521530)

`-v2c` または `-v3` オプションを指定した Solaris 10 OS の `snmptable(1M)` コマンドを使用して、LDoms MIB 1.0.1 ソフトウェアに対してクエリーを実行すると、空の SNMP テーブルを受け取ります。Version 1 (`-v1`) オプションを指定した `snmptable` コマンドは、予想したように機能します。

回避方法: `GETBULK` ではなく、`GETNEXT` 要求のみを使用する `-CB` オプションを使用して、データを取り出してください。詳細は、『Logical Domains (LDoms) MIB 1.0.1 管理ガイド』の「SNMP Version 2 (`v2c`) の場合の `snmptable(1M)` コマンドの使用例」を参照してください。